

例：アクスルオイルの点検、交換…………… 27-14



参照グループ及びページを示す。

あ ~ お

アクスルオイルの点検、交換<リヤ>……………	27-14
アクスルハウジング<リヤ>……………	27-46
アクセルインターロック……………	63-21, 63-138
アクチュエーター(ショックアブソーバー減衰力切り替え用)	
<＊f>……………	33C-9
<＊j>……………	34B-7
アッパーアーム	
<＊e>……………	33B-10
<＊f>……………	33C-30
<＊g>……………	33D-14
アンカークロスメンバー……………	33D-6
インストルメントパネル……………	63-124, 63-129
インストラ……………	22-71
インターナルギヤ……………	24-21
インターメディエイトシャフト……………	37B-26
インターロック機構……………	22-8
インターロックプレート……………	22-17
ウォッシャー	
<フロント>……………	63-22, 63-148
<リヤ>……………	63-23, 63-152
ウォーターポンプ……………	55-36
エアコンプレッサー……………	33C-7, 33C-36
エアサスペンションシステム……………	33C-44
エアスプリング	
<＊f>……………	33C-6, 33C-30
<＊j>……………	34B-6, 34B-10
エアスプリング高さの点検、調整	
<＊f>……………	33C-22
<＊j>……………	34B-9
エアプレッシャーガバナ……………	33C-10, 33C-42
エアダクト……………	55-10, 55-34
エアドライヤー……………	33C-8, 33C-38
エアドライヤーの保守、点検……………	33C-23
エアバッグモジュールの廃却……………	63-172
エア配管図	
<＊f>……………	33C-4
<＊j>……………	34B-5
エキゾーストブレーキシステム……………	35A-20, 35A-82
エキゾーストブレーキシステムの点検……………	35A-49
エキゾーストブレーキユニット……………	35A-82
エクステンションハウジング<S6>……………	22-26
エマージェンシードア……………	63-80
エマージェンシードアパネル……………	63-82
エマージェンシードアの建て付け調整……………	63-50
エマージェンシードアロッキングシステム……………	63-6
エバポレーター……………	55-28
SRS エアバッグシステム……………	63-24, 63-160
SRS エアバッグシステムの点検……………	63-160
LSD<D033H>……………	27-9, 27-78
オイルの流れ	
<＊k>……………	37A-5
<＊m>……………	37B-5
オートクーラーシステム……………	55-4, 55-46
オートステップ	
<路線>……………	63-14, 63-102
<路線以外>……………	63-17, 63-104
オートエアコンシステム……………	55-4, 55-46
オートドアシステム	
<スイングドア>……………	63-8, 63-90
<折戸>……………	63-12, 63-96
温水配管……………	55-36

か ~ こ

ガイドアーム……………	63-64
ガーニッシュ……………	63-122
カウンターシャフト……………	22-56
ギヤシフターアッパー……………	22-17, 22-18
ギヤシフトレバー……………	22-64
キャッチ	
<リヤドア>……………	63-74
<エマージェンシードア>……………	63-80
キングピン……………	26A-4, 26A-28
クイックコネクタ……………	21-8, 21-24
空調切り替え……………	55-11
クラッチ液の交換……………	21-14
クラッチコントロール……………	21-3, 21-30
クラッチダイレクトパワーシリンダー……………	21-32
クラッチブースター……………	21-4, 21-22
クラッチブースターの機能点検……………	21-18
クラッチペダル……………	21-20
クラッチマスターシリンダー……………	21-4, 21-22
クラッチ系統のエア抜き……………	21-16
クラッチ本体……………	21-26
クラッチ本体及びクラッチダイレクトパワーシリンダー……………	21-9
クーラー、エアコン系統図……………	55-4
クーラー、エアコン配管……………	55-22
クーラー、エアコン配管の接続……………	55-24
クーラーダクト……………	55-28
コイルスプリング……………	33B-6
コンデンサー……………	55-26
コンパニオンフランジ部のガタ及び緩み点検……………	22-13, 24-6
コンプレッサー……………	55-25

さ ~ そ

サイドウインドーガラス	
<引き違い窓>……………	63-112
<固定窓>……………	63-116
サイドドア	
<スイング>……………	63-64
<折戸>……………	63-70
サイドドア<スイングドア>の建て付け調整……………	63-44
サイドドアロッキングシステム	
<スイング>……………	63-5
<折戸>……………	63-5
サイドスリップの点検	
<＊a>……………	26A-11
<＊b>……………	26B-11
<＊c>……………	26C-15
サスペンションクロスメンバー	
<＊e>……………	33B-12
<＊f>……………	33C-34
<＊g>……………	33D-17
シートベルト……………	63-155
6th ギヤ<S6>……………	22-32
シフトフォーク	
<S5>……………	22-42
<S6>……………	22-44
シフトレール	
<S5>……………	22-42
<S6>……………	22-44
シリンダー……………	63-100
車高の点検、調整……………	33D-4

シュー	36-10
衝突車両の診断	63-170
ショックアブソーバー	
<*d>	33A-6
<*e>	33B-4
<*f>	33C-24
<*g>	33D-8
<*h>	34A-6
<*i>	34B-12
シンクロメッシュ機構	22-6
スイングドアアーム	63-64
スイングドアパネル	63-66
スタビライザー	
<*d>	33A-4
<*h>	34A-4
ステアリングコラム	
<*k>	37A-14, 37A-20, 37A-21
<*m>	37B-14, 37B-20, 37B-21
ステアリングコラムの緩み	
<*k>	37A-13
<*m>	37B-13
ステアリングホイールの回転動作<SRS エアバッグ>	
<*k>	37A-4
<*m>	37B-4
ステアリングホイールの遊び	
<*k>	37A-13
<*m>	37B-13
ストライカー	63-56
スピードメーターギヤブッシュ	22-10
スピードメーターギヤブッシュ<BG>	24-4
2nd&3rd シンクロ	22-52
セーフティウインドーガラス	63-110
セーフティバルブ	34C-41
操向角の点検	
<*a>	26A-10
<*b>	26B-11
<*c>	26C-14
操向角の点検, 調整	26A-10

た ~ と

タイヤ	31-4, 31-6
タイロッド	26A-36
タイロッドエンドボールジョイント部の点検	
<*a>	26A-11
<*m>	37B-13
ダクト	55-35
チェックバルブ	33C-40
ディスクブレーキの引きずりトルクの測定	35A-39
ディスクブレーキパッドの点検, 交換	35A-37
デファレンシャル	
<*c>	26C-4, 26C-42, 26C-54
<リヤ>	27-7, 27-8
<D2H>	27-50
<D033H>	27-64, 27-74
デファレンシャルマウンティング	26C-3
デフキャリアオイルの点検, 交換	26C-16
デフマウンティング	26C-38
天井方向幕	63-156
電子制御システム	33C-12
ドアエンジン	63-94
ドアガラスオープニングシステム	63-20
ドアチェック	63-80
ドアヒンジ	63-56
ドアロックアクチュエーター	63-92
ドアロックシステム	
<リヤドア>	63-78
<エマージェンシードア>	63-86
トーションバー	33D-6
ドライブシャフト	26C-4, 26C-28, 26C-34
ドライブピニオン	22-46

ドラグリンク	37A-26
ドラムブレーキライニングの厚さの点検, 交換	35A-40
トランスファー	24-3, 24-16
トランスファーオイルの点検, 交換	24-7
トランスファーの脱着	24-10
トランスミッション	22-4
トランスミッション(トランスファー付)の脱着	24-8
T/M オイルの点検, 交換	22-14
トランスミッションコントロール	22-60
T/M 取付けボルトの緩み点検	22-13, 24-6
トランスミッションの脱着	22-15
トランスミッション本体	22-36
トランクリッド	63-88
トランクリッドロックシステム	63-7
トランクリッドの建て付け調整	63-52
ドリブンスプロケット	24-20

な ~ の

ナックル	
<*a>	26A-4, 26A-28
<*b>	26B-3, 26B-12
<*c>	26C-3, 26C-28
ノンバックラッシュ機構	22-9
No.2 シフトレバー	22-68
No.2 セレクトレバー	22-69
No.3 セレクトレバー	22-70

は ~ ほ

パーキングブレーキ	22-22, 22-26
パーキングブレーキ	36-4, 36-10
パーキングブレーキコントロール	36-3, 36-8
パーキングブレーキシュークリアランスの点検, 調整	36-6
パーキングブレーキラチェットバー	36-3, 36-9
パーキングブレーキラチェットバー引きしろの点検, 調整	36-6
ハイトセンサー	
<*f>	33C-9
<*j>	34B-7
バキュームブースター	35A-7, 35A-58
バキュームブースターの点検	35A-43
バキュームポンプ	35A-6, 35A-50
バキュームポンプの点検	35A-42
バキュームラインホースの点検及び交換	35A-42
パッキングプレート	36-10
パワーステアリングオイルタンク	
<*k>	37A-36
<*m>	37B-46
パワーステアリングオイルの交換	
<*k>	37A-10
<*m>	37B-10
パワーステアリングオイルポンプ	
<*k>	37A-32
<*m>	37B-42
パワーステアリングギヤ Assy	
<*k>	37A-26, 37A-28
<*m>	37B-32, 37B-36
パワーステアリングシステムのエア抜き	
<*k>	37A-11
<*m>	37B-11
パワーステアリングシステムの構成図	
<*k>	37A-4
<*m>	37B-4
パワーステアリングシステムの性能確認試験	
<*k>	37A-12
<*m>	37B-12
P/S オイルポンプ	
<*k>	37A-6
<*m>	37B-6
ヒーター	55-34

索引

ヒーターコントロール<マニュアルヒーター>	55-32
ヒンジ	
<リヤドア>	63-74
<エマージェンシードア>	63-80
VGU (ビスカスカップリングユニット)の点検	24-7
ピニオン	27-86
1st&Rev シンクロ	22-54
4th&5th シンクロ	22-54
プリテンショナー付シートベルト	63-24
プリテンショナー付シートベルトの点検	63-160
プリテンショナー付シートベルトの廃却	63-176
プレヒーター	55-36
ブレーキシステム	35A-4
ブレーキドラム	26A-3, 26A-20
<リヤ>	27-5
<φ320×75mm ブレーキ>	27-26
<φ320×110mm ブレーキ>	27-36
ブレーキドラムとブレーキシューのすきま初期設定	35A-41
ブレーキペダル	35A-58
ブレーキペダルのストロークの点検及び取付け高さ調整	35A-36
ブレーキペダルの床板とのすきまの点検、調整	35A-35
ブレーキペダルの遊びの点検、調整	35A-35
ブレーキマスターシリンダー	35A-7, 35A-52
ブレーキ液の交換	35A-26
ブレーキ系統のエア抜き	35A-28
フレーム	41-3, 41-4
プロペラシャフト	
<センターベアリングなし>	25-3
<センターベアリング付>	25-4
<P2>	25-12
<P3, P3 改>	25-20
プロペラシャフトの継ぎ構成	25-3
プロペラシャフトの脱着	
<T/M (または T/F)- リヤアクスル間>	25-6
<フロントアクスル- T/F 間>	25-10
プロワー	55-35
フロントアクスル	26A-4, 26A-28
フロントアクスル総合バックラッシュの点検	26C-8
フロントサスペンション構成図	
<*d>	33A-2
<*e>	33B-2
<*f>	33C-3
<*g>	33D-2
フロントディスクブレーキ	35A-12, 35A-60
フロントウインドーガラス	63-106
フロントドア	63-56
フロントドアパネル	
<上下昇降窓>	63-57
<左右引違窓>	63-60
フロントドアロッキングシステム	63-4
フロントドアの建て付け調整	63-42
フロントドラムブレーキ	35A-14, 35A-64
フロントバンパー	63-120
フロントヒーター	55-35
フロントワイパー	63-22, 63-148
フェューエルリッドの建て付け調整	63-54
ベアリングブラー	22-71
ヘッドライニング	
<フロント>	63-132
<センター>	63-134
<リヤ>	63-136
ベベルギヤ	37B-5, 37B-26, 37B-28
ホイール	31-4
ホイールアライメントの点検、調整	
<*a>	26A-6
<*b>	26B-6
<*c>	26C-9
ホイールシリンダー	35A-68, 35A-78
ホイールハブ<フロント>	
<*a>	26A-3, 26A-12, 26A-20
<*b>	26B-3, 26B-12
<*c>	26C-3, 26C-18

ホイールハブ<リヤ>	27-4, 27-5, 27-16
ホイールハブ<リヤ>	
<φ320×75mm ブレーキ>	27-26
<φ320×110mm ブレーキ>	27-36
ボデー	63-4

ま ~ も

ミラー	
<運転席側>	63-140
<助手席側>	63-144
メーターまわり<インスツルメントパネル>	63-125
メインシャフト	22-48

ら ~ ろ

ラテラルロッド	34B-16
リーフスプリング	
<*d>	33A-8, 33A-10
<*e>	33B-6
<*f>	33C-26
<*h>	34A-7
<*i>	34B-13, 34B-14
リダクション	26C-4, 26C-42, 27-7, 27-8
リダクション	
<D2H>	27-50
<D033H>	27-64
Rev アイドラーギヤ	22-30
リヤウインドーガラス	63-106
リヤカバー<S5>	22-22
リヤサスペンション構成図	
<*h>	34A-2
<*i>	34B-4
リヤディスクブレーキ	35A-17, 35A-70
リヤドア	63-74
リヤドアの建て付け調整	63-48
リヤドアパネル	63-75
リヤドアロッキングシステム	63-6
リヤドライブ	24-12
リヤドラムブレーキ	35A-18, 35A-74
リヤバンパー	63-121
リヤヒーター, ウォーターポンプ, プレヒーター, 温水配管	
<フロント部>	55-36
<リヤ部>	55-37
リヤヒーター系統図	55-13
リヤベンチレーション	55-44
リヤワイパー	63-23, 63-152
冷媒の回収	55-20
冷媒のチャージ	55-21
冷媒の補充	55-21
冷媒量の点検	55-21
ルーフベンチレーション	55-42
レバー	22-66
レシーバー	55-26
ローター<フロント>	
<*a>	26A-3, 26A-12
<*b>	26B-3, 26B-12
<*c>	26C-3, 26C-18
ローター<リヤ>	27-4, 27-16
ローターナックル	26C-3
ロードセンシングバルブ	35A-19, 35A-80
ロードセンシングバルブのリーフスプリング取付け高さの点検、調整	35A-48
ロワーアーム	
<*e>	33B-6
<*f>	33C-26
<*g>	33D-10
ロワーパネル<インスルメントパネル>	63-124

わ ~ ん

ワイバー

<フロント> 63-22, 63-148
 <リヤ> 63-23, 63-152

*a フロントアクスル<リジッドリーフ式サスペンション>
 *b フロントアクスル<独立懸架式サスペンション(⊖E)>
 *c フロントアクスル<独立懸架式サスペンション(⊖G)>
 *d フロントサスペンション<リジッドリーフ式>
 *e フロントサスペンション<独立懸架式(⊖E)>
 *f フロントサスペンション<独立懸架エア式>
 *g フロントサスペンション<独立懸架式(⊖G)>
 *h リヤサスペンション<リジッドリーフ式>
 *j リヤサスペンション<エア式>
 *k ステアリング<リジッドリーフ式サスペンション>
 *m ステアリング<独立懸架式サスペンション>

グループ 31 ホイール&タイヤ

諸 元.....	31-2
トラブルシューティング.....	31-3
ホイール&タイヤ.....	31-4



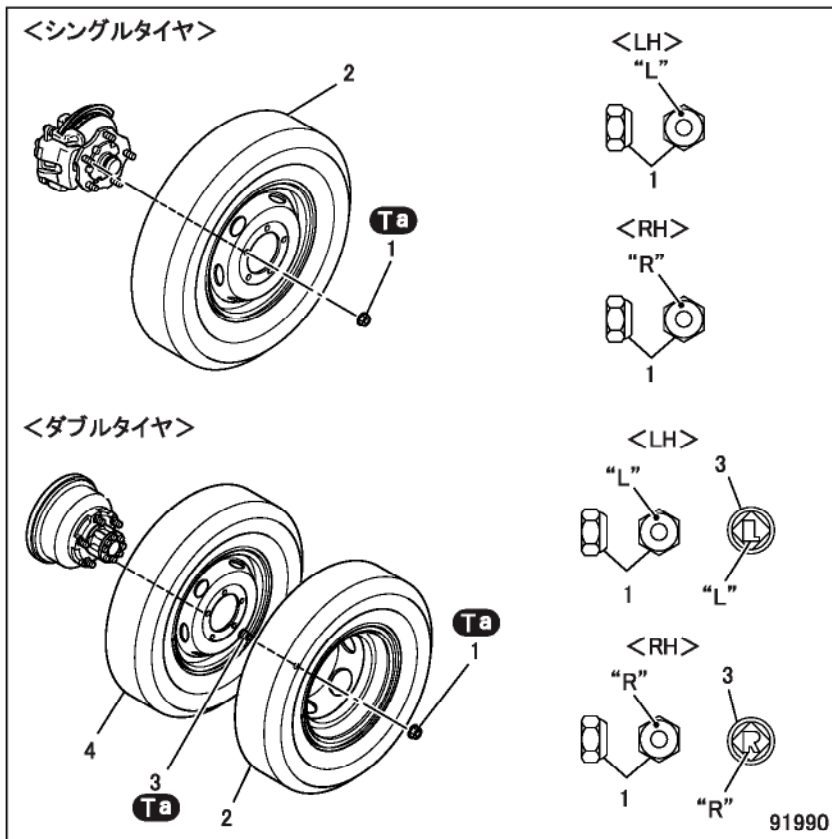
諸 元

タイヤサイズ	適用ホイール
205/85R16	16×5.5K-115

- 各タイヤサイズの空気圧は、空気圧ラベルにより確認する。

故障状況		タイヤのトレッド摩耗									のこぎり歯状摩耗	参照 Gr
		両肩摩耗	中央摩耗	外側摩耗	内側摩耗	外側から内側に向かって羽根状に摩耗	内側から外側に向かって羽根状に摩耗	波状摩耗	皿状摩耗(一個所または数箇所)	ピット状(くぼみ状)に全周摩耗		
推定要因												
オーバーロード		○										
タイヤ空気圧		不足	○					○	○	○	○	
		過大		○								
ホイールアライメント	トーイン	過大		○		○						
		過小			○							
	キャンバー	過大		○								
		過小			○							
	トーアウトの過大				○		○					
		総合的な狂い	○		○	○	○	○	○	○		Gr 26
ナックルアームの曲がり				○	○	○	○					
左右タイロッドの長さ相違						○						
ホイールバランス不良								○	○	○	○	
ホイールベアリングのガタ								○	○	○	○	Gr 26, 27
ボールジョイントのガタ									○			Gr 33B, C, D
タイロッドエンドのガタ									○			Gr 26A, 37A
ブレーキドラムの偏心<ドラムブレーキ>									○	○		Gr 26, 27
アクスルの曲がり<リジッドサス>								○	○			Gr 26A, 27
アッパーアーム, ロワーアームの曲がり<独懸サス>								○	○			Gr 26B, C
ドライブシャフトの曲がり<独懸サス>								○	○			Gr 26B, C
旋回時の左右フロントホイール切れ角の不良											○	Gr 26
急激な駆動, 制動または旋回											○	
路面の影響				○	○							

ホイール&タイヤ



△ 注意

- ホイールナットは RH タイヤには右ねじ, LH タイヤには左ねじを使用する。

- **取外し順**
- 1 ホイールナット<シングルタイヤ>
ホイールナット(アウター)
<ダブルタイヤ>
 - 2 タイヤ(後述参照)
 - 3 ホイールナット(インナー)
<ダブルタイヤ>
 - 4 タイヤ<ダブルタイヤ>
(後述参照)

● **取付け順**
取外しの逆順で行う。

△ 注意

- ホイールナットはグリースを塗布しないで締付けるタイプである。グリースを塗布し, 規定トルクで締付けてもホイールナットが緩むおそれがあるので, グリースは絶対に塗布しない。

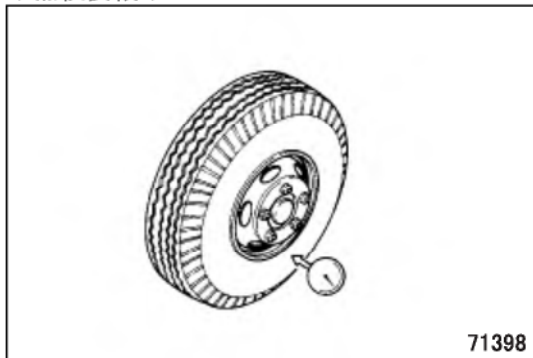
整備基準 (単位: mm)

部位	点検箇所	基準値	限度	処置
2, 4	タイヤの横振れ	3.5 以下	-	修正または交換

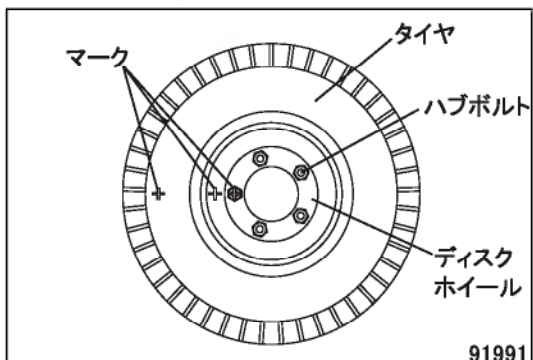
締付けトルク (単位: N・m [kgf・m])

記号	締付け箇所	締付けトルク	備考
Ta	ホイールナット	490±49 {50±5}	-

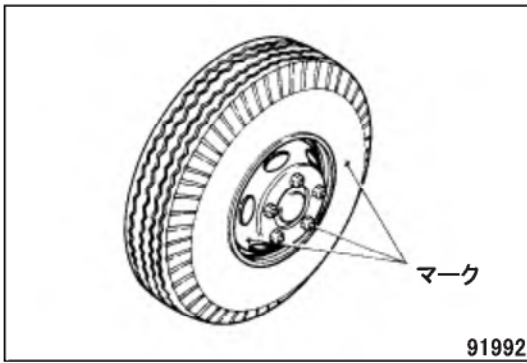
◆ **点検要領** ◆



- **点検: タイヤ**
- タイヤの横振れを測定する。
 - 測定値が基準値以上の場合は, 修正する。

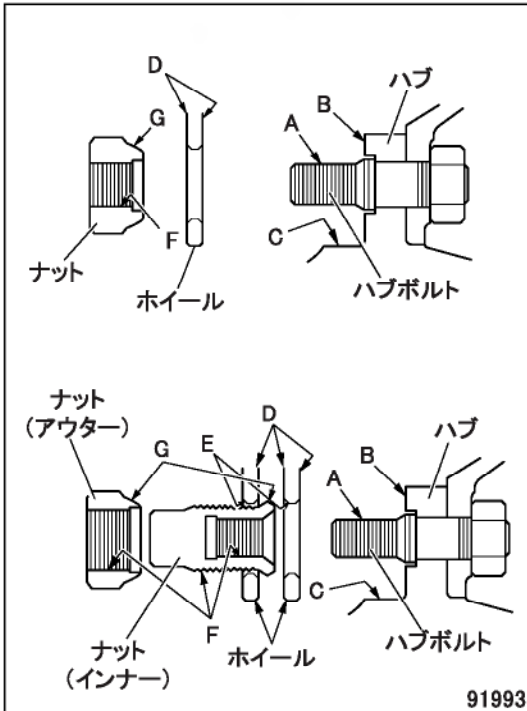


- **修正: タイヤ**
- タイヤ, ディスクホイール及びハブボルトに, 図示のようにマークを付ける。
 - タイヤをディスクホイールから取外す。



- ディスクホイールの振れを測定する。
- 振れのもっとも大きい位置が元のマークのそばにあれば、マークから 180° 移動させてタイヤを取付ける。
- 再びタイヤの振れを測定する。
- 以上の修正を行っても横振れが基準値を外れる場合は、タイヤを交換する。

◆取付け要領◆

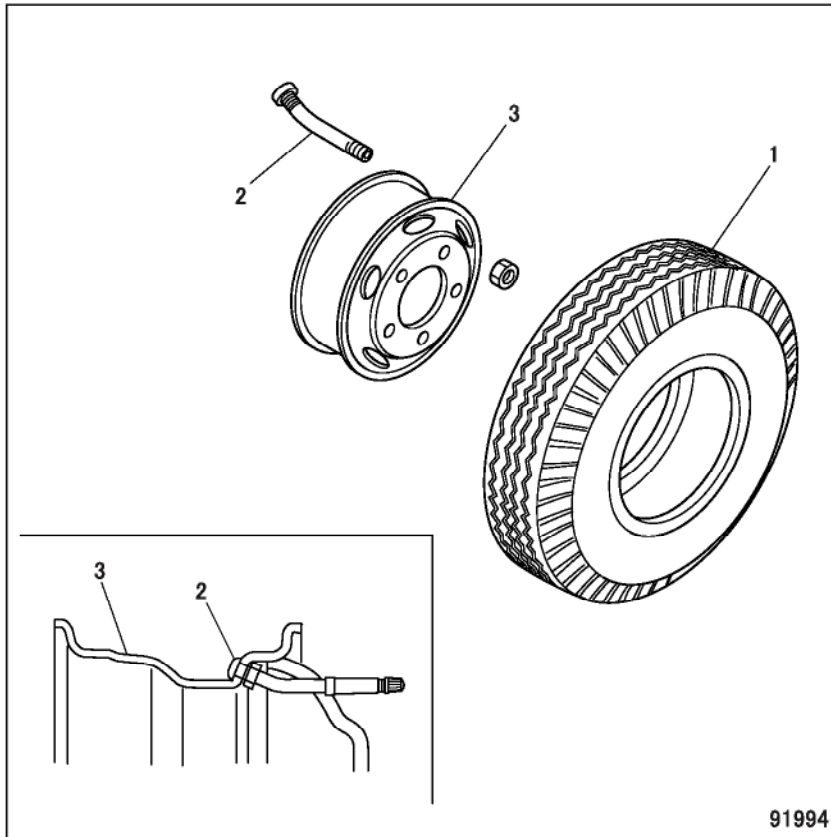


■取付け：タイヤ

- 各部の緩み、損傷を防止するため次の部位を清掃し、さび、ゴミ、追加塗装、異物等を取り除き、タイヤを取付ける。
 A：ハブボルトのねじ部
 B：ハブのホイール取付け面
 C：ハブのホイールインロー部
 D：ディスクホイールの合わせ面
 E：ディスクホイールのホイールナット取付け面
 F：ホイールナットのねじ部
 G：ホイールナットの球面部

ホイール&タイヤ

タイヤ



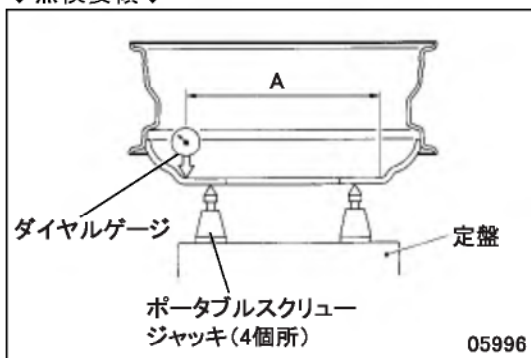
- 分解順
 - 1 タイヤ
 - 2 エアバルブ
 - 3 ディスクホイール
- 組立て順
分解の逆順で行う。

91994

整備基準 (単位: mm)

部位	点検箇所	基準値	限度	処置
-	ホイール&タイヤの許容静アンバランス量	30g 以下	-	修正
3	ディスクホイール	平面度	0.4 以下	交換
		横振れ	1.5 以下	
		縦振れ	1.5 以下	

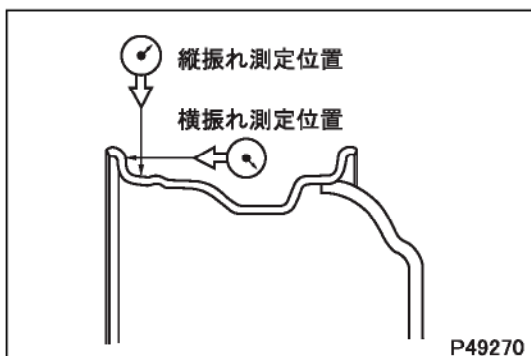
◆点検要領◆



■点検: ディスクホイール

(1) 平面度

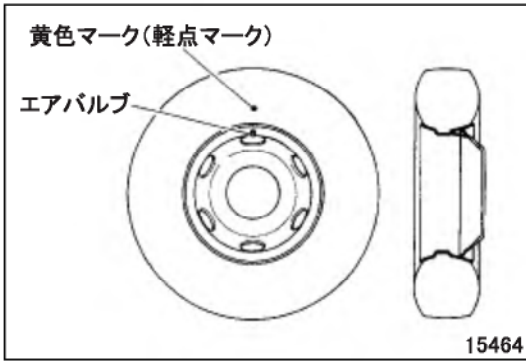
- ディスクホイールの中心より規定の位置 A の平面度を測定する。
なお、平面度は円周上を 5 等分した位置で測定する。
A : $\phi 165\text{mm}$, $\phi 250\text{mm}$ 16×5.5K-115
- 測定値が基準値以上の場合は、ディスクホイールを交換する。



(2) 振れ

- 測定値が基準値以上の場合は、ディスクホイールを交換する。

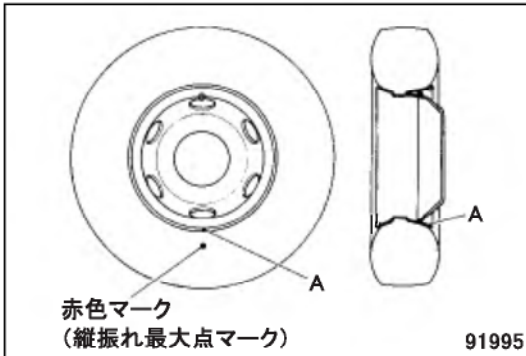
◆取付け要領◆



■取付け：タイヤ

<タイヤに赤色マークのない場合>

- タイヤの黄色マーク(軽点マーク)をディスクホイールのエアバルブ位置に合わせて組み付ける。

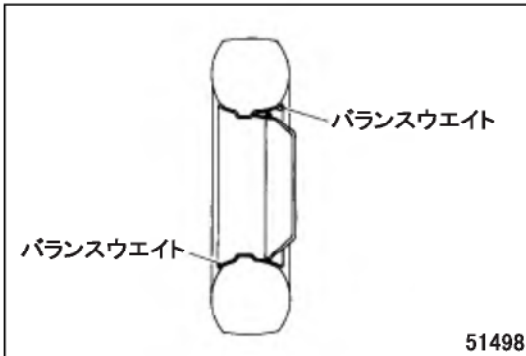


<タイヤに赤色マークがある場合>

- タイヤの赤色マーク(縦振れ最大点マーク)をディスクホイールのマーク A の位置に合わせて組み付ける。

A：ディスクホイール表面

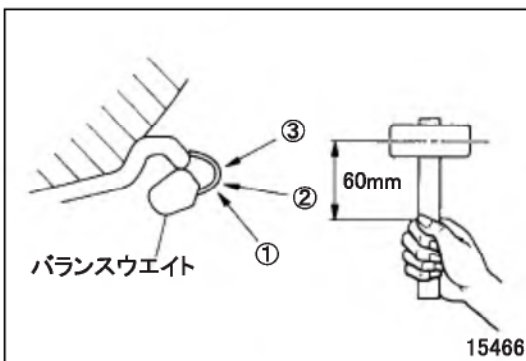
◆取付け要領◆



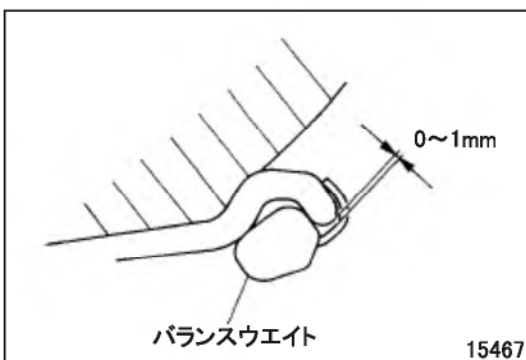
■取付け：バランスウエイト

- 下表に示すバランス取りタイヤ位置に許容静アンバランス量以下となるよう、バランスウエイトをディスク両面に取付ける。

バランス取りタイヤ位置	車 両 型 式
前輪	BE
前輪, 後輪	BG



- バランスウエイト打ち込み時は、0.5 ポンド樹脂ハンマーを使用する。
- バランスウエイトのクリップ中心部を①→②→③の順にたたいて打ち込み作業を完了させる。



- クリップとディスクホイールの間に 0~ 1mm 程度のすきまを残す。またガタがないことを確認する。
- 打ち損じ及び落下させたバランスウエイトは再使用しない。
- バランスウエイトを 2 個取付ける場合は、なるべく同質量のウエイトの組み合わせとなるようにし、ウエイト 2 個の中心が balancer の指示点となるよう取付ける。